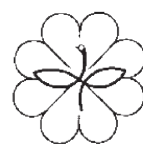




活動を知っていただきもっと身近な存在に  
**こんにちは民生委員・児童委員です**  
 助けられ上手になってほしい



左から土生政勝会長・渡邊幸次副会長・徳永妙子副会長

土生会長は井野地区で20年、渡邊副会長は障子岳地区で約11年、徳永副会長は明治町地区で9年間委員をお務めになられています。

協議会役員の皆さんからは、「定数43名のうち委員が選任されていない地域が4地区あるので、できるだけ早く未定の地域をなくしたい。そのためにも、私たちの活動を町民の皆さんに広く知っていただくことが大切だ。」

また、「私たちだけで地域すべてを見守ることは難しい。住民の皆さんも、例えばポストに新聞や郵便物が溜まっていないか、子どもを怒鳴るような声が頻繁に聞こえてはいないかなど、目配せ・気配りをしていただけるとありがたい。そして、気づいたことがあったら、遠慮なく私たちに一声かけていただきたい。」と語られました。

最後に、「私たちは助け上手になりたいですし、地域の皆さんは助けられ上手になってほしいと願っています。」と想いを述べられました。

昨年の12月に民生委員・児童委員の改選が行われました。9名が退任、33名が再任され、6名が新しく委嘱状の交付を受けられました。

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱されたボランティアで、全国で23万人が活動しておられます。

また、住民からの医療や介護、子育ての不安などの生活上の心配ごとや困りごと相談に応じ、その課題が解決できるよう、必要な支援への「つなぎ役」になっていただいています。

宇美町は今後急激な高齢化が進み、民生委員・児童委員が担う役割はますます大きくなることが予想される中、協議会役員の声をお聞きしました。



徳永委員の訪問に、明治町自治会の吉松さんは「独りぼっちじゃないと感じる。いつも気にかけてくれる人が身近にいてくれるのは、本当にありがたい。」と満面の笑みで語られました。

### 子どもたちの見守り活動に参加された原田小学校区の委員の皆さん



保護者の方々からも「安心して子どもを学校に送り出せています。」と感謝の声が寄せられています。



子どもたちの元気な笑顔とあいさつが、なによりの励みになっています。

# あれはどげん なつとりますと？



定例会で議員が出した一般質問などは、まちづくりにどう生かされているのでしょうか。その後を追います。

## 一般質問など

## その後の経過

Q1. ふるさとを離れている方々に、宇美町の良さや魅力を再認識し、応援していただけるよう「宇美町町人会」の設立を

A. 令和元年11月30日に東京で(仮称)関東地区宇美町町人会が発足式が開催。会長には、東京在住の永翁(ながおさ)利成氏を選任。出席者は、町制施行100周年アンバサダー(大使)の中西英敏氏や山口幸三郎氏をはじめとする総勢約40名が参加。宇美町ゆかりの歌手かおるさんが歌を披露し、会に花を添えてくれた。



就任のあいさつをされる永翁氏

Q2. 隣接民地に越境している防災無線(ゆりが丘)の移設工事は、費用がかかりすぎる。移設工事を行わず、越境部分の土地を購入するべきでは。

A. 令和元年6月定例会で議会の指摘を受け、防災無線の移設工事から土地購入に切り替えて、同年9月定例会で補正予算を計上。防災無線の設置の際に、私有地との境界確認を怠ったことを執行部は謝罪した。  
移設工事費用 約246万円  
↓  
土地購入費他 約 46万円  
補正減額費用 約200万円



ゆりが丘の防災無線用地購入(斜線部)

Q3. 安全・安心のまちづくりのために、町民の生命財産を守る防災防犯に特化した危機管理室または課等を新設しては。

A. 「安全に暮らせるまち」を第6次総合計画の基本目標に掲げている。組織機構の再編に取り組んだ結果、令和2年1月1日に「危機管理課」を新設。



西館2階に設置